

いにしえの生活路をしのび 自然の風情を満喫する

久留米遊歩会／福岡

吉野 和記



文字岳からの前門岳（左のピーク）

英彦山地（耶馬溪溶岩台地）南端の釈迦ヶ岳火山の一部でトロイデ型の山、八女市矢部村矢部に在る。「山名はすぐ南方にある同型の山と、門構えをなすように並ぶことにちなむ」（角川日本地名大辞典福岡県）とあるが、すぐ南方の同型の山とは？ また、筑後、豊後、肥後の三つの国境にまたがる三国山を手に仰ぐ山として、前門岳の名がつけられたとする説もある。

筑後と豊後を結ぶ古道の名残があり、登山道は沢沿いにつけられ、キツネノカミノリ、柱状節理の岩壁や滝の景観などを楽しめる。歩く距離が短いので、「幹線林道奥八女線」沿いの「文字岳」や「休鹿山」（要読図）などを登る案も。

国道3号線の八女市「納楚」の交差点から442号線を黒木へ、日向神ダムから二つ目の橋（笹又橋）の手前を右折。今屋敷を過ぎて三差路（前門岳道標あり）を左へ行くと右手に前門岳登山口の道標。

右はヒノキの植林帯、疎林の中の砂防堤を左に見てヒノキ林のな



登山道途中に見られる柱状節理の岩盤と滝

かに行く。沢沿いの雑木林、足元を見ると荒れてはいるが石畳が往時の生活路をしのばせる。道標に従い左の沢へと降りる。

岩壁とゴロ口と清水と背の高い立ち木。沢の左岸を歩く。柱状節理の岩壁が見え、短いゴルジュ帯。右（左岸）を巻き、登り上がると左足下と目前に滝。沢を渡り自然林の中を歩く。丸太を並べた橋で砂防堤を越えて灌木帯を行くと林道。道標に従い急な斜面を登り、九十九折れの登りから、稜線に出て右へ行くと頂上。

阿蘇・九重の連山、三国山、国見山、釈迦・御前、渡神岳、そして石割岳と平野岳。ぐるりと山並みが広がる。山頂に佇むアカガシと立ち枯れの木がその景観に趣を添える。



- ⌚ 登山口>60分>林道>30分>前門岳山頂>60分>登山口
- 🚗 車の場合：国道3号線（納楚交差点を黒木へ）～国道444号線～笹又橋手前を右折～幹線林道奥八女線を左折～前門岳登山口
バスの場合：JR羽犬塚駅から堀川バス（羽矢線）、笹又橋下車。約4kmの車道を歩く
- ☎ 矢部村役場 0943-23-1192
堀川バス八女本社 0943-23-6269
- ♨ グリーンピア八女 黒木温泉“くつろぎの湯”500円
0943-42-2400
- 📍 宮ノ尾
- 🕒 参考タイム 🚗 交通 🗨 問い合わせ 🌊 立ち寄り湯 🗺 地形図